

# 令和7年度保育園の自己評価

オレンジ第2保育園

| 1、保育理念・保育観     |                                                   | 評価 | 評価の根拠・改善方法           |
|----------------|---------------------------------------------------|----|----------------------|
| 1              | 保育士一人一人が、オレンジ第2保育園の保育理念・保育方針を理解している。              | A  | 理念・目標方針を常に確認         |
| 2              | オレンジ第2保育園の保育方針を理解して保育計画が立てられている。                  | A  | 保育の計画が月案と週案につながる     |
| 3              | 常に保育方針や保育観を確認できるような機会を作っている。                      | A  | 毎月の振り返りドキュメンテーションを参照 |
| 4              | 一人一人の主体性を大切にした保育をしている。                            | A  | 子どもの興味、関心やる気を引き出す    |
| 5              | 保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感している。                         | A  | 活動の配信・連絡帳・口頭で伝えあう    |
| 2、保育計画・指導計画    |                                                   |    |                      |
| 1              | 保育方針の、ねらい及び内容が達成できるような全体的な計画や保育計画を立てている           | A  | 年間・期・月・週・日とつなげる      |
| 2              | 保育計画に基づき、子ども一人一人の発達の姿や興味を把握して年間計画、月案、週案を立てている     | A  | 個別計画の立案、記録をする        |
| 3              | 3歳未満児は、現在の姿を理解し、見通しをもって一人一人に応じた保育計画を立てている。        | A  | 個別計画の立案、記録をする        |
| 4              | 配慮の必要な子には、その子に応じた保育計画を立てている。                      | A  | 個別計画の立案、記録をする        |
|                |                                                   |    |                      |
| 1              | 食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立てている。                  | A  | 年間の計画に添っている          |
| 2              | 調理士、保育士等が連携し、会議等で意見を交わしながらより良い給食になるよう努めている。       | A  | クラス代表、調理、栄養士の意見交換会   |
| 3              | 出来るだけ地元の食材や旬の食材を取り入れ、様々な食材を味わえるようにしている。           | A  | 栄養の配慮とリクエストメニュー      |
| 4              | 給食やおやつは手作りをしている。                                  | A  | 毎日手作り                |
| 4、職員構成・役割分担・研修 |                                                   |    |                      |
| 1              | 職員の仕事や役割が明確であり、連携を取って円滑な園経営が出来ている。                | A  | ステップの評価、努力目標がある      |
| 2              | 危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制が出来ている。                      | A  | マニュアルの確認を常に行う        |
| 3              | 職員が割り当てられた業務分担を把握し、園の保育や内容を深めるために、それぞれが活発に活動している。 | A  | それぞれの活動、担当の報告        |
| 4              | 園内研修と園外研修の計画を立てて実行している。                           | A  | 毎日第三土曜日、テーマを決めて実践    |
| 5              | 施設整備や遊具等の安全点検を行っている。                              | A  | チェックリストに点検記入         |
| 5、保護者支援        |                                                   |    |                      |
| 1              | 保護者と良好な関係をつくろうとしている。                              | A  | 笑顔で敬意をもって対応          |

|                |                                     |   |                     |
|----------------|-------------------------------------|---|---------------------|
| 2              | 園の保育内容や子どもの姿が分かるような発信をしている。         | A | 園だよりクラス便りで配信        |
| 3              | 保護者の状況を理解し、個人情報の漏洩に気をつけている。         | A | 個人情報について徹底している      |
| 4              | 子育てのパートナーとして、保護者の子育ての大変さや悩みを理解している。 | B | できるだけ聞く態度を示す        |
| <b>6、子育て支援</b> |                                     |   |                     |
| 1              | 地域に開かれた、日々子育てをしている親子を受け入れている。       | C | 見学などで案内             |
| 2              | 地域で子育てをしている親子の交流の場となるように努めている。      | B | 見学の案内、子育て相談         |
| 3              | 子どもの心身の発達や育児不安について、気軽に相談できるようにしている。 | A | 送迎時や個人面談、必要に応じて個別対応 |
| 4              | 園生活の子ども様子を地域にも発信している。               | B | 地域への挨拶・地域行事の情報発信    |
|                |                                     |   |                     |
| 1              | 定期的に小学校と交流を行っている。                   |   | 満3歳未満時児の保育の受け入れ     |
| 2              | 定期的に小学校やこども園との会議や職員交流を行っている。        |   | 満3歳未満時児の保育の受け入れ     |
| 3              | 高齢者施設との交流を深め、高齢者の方を敬う気持ちを育てている。     | B | 近隣のサービスと挨拶を交わす・交流   |

A：よくできた B：できた C：一部改善が必要 D：改善しなければならない

## 園全体の評価

令和7年度は、保育所保育指針を再確認し、日々の実践が指針の考え方とどのようにつながっているのかを共有した。「ひとり一人を丁寧にみる保育」および「環境をとおして行う保育」をテーマに園内研修を実施し子ども理解を深めながら保育実践の見直しを行った。子どもの育ちを捉えることで主体的に関われる環境構成や援助の在り方、子どもたちの「やってみたい」ができる環境を再構成し保育がより充実できるよう継続し取り組んでいく。課題として理念・保育方針・目標への関連付けの意味や配慮の根拠について共通理解を図り、保育実践の中で職員間で言語化を行い関連付けて説明できる力や保育の質を高めていく。

行事に関しては、日々の遊びや生活で親しんできた内容を取り入れたことで、子ども達も無理なく参加することができた。また、保護者参加型を中心にする事で園での過ごし方・育ちを共有する機会となり、保護者同士コミュニケーションの場としても機能し、理解や安心感につながった。一方で日頃の園の取り組みについての意図や関わり、保護者同士の子育ての悩み・育ちの共有について設ける機会が少なかったため、保護者同士交流の場を設け子育て支援の充実を図る。

地域との連携について近隣やサービスの方々へ挨拶を交わし、保育園の存在を認識してもらっていたが地域の交流や子育て支援事業について参加に繋がる発信方法や周知の機会が少なかった。地域の方々に園をより身近に感じてもらえるよう、子育て世帯が気軽に相談・参加できる環境作りとして掲示物やホームページ見学者への案内等を活用し地域とのつながりを深めていきたい。